



活動実績	
活動期間	①平成29年4月、6月 平成30年3月、6月、10月～11月、令和1年3月、6月、令和2年1月 ②平成29年3月、7月～8月、11月、平成30年2月～3月、7月、令和1年1月、7月～8月 ③平成29年8月、10月～11月、平成30年9月、11月、令和1年1月、3月11月、令和2年2月 ④平成29年2月、平成30年3月、10月、令和1年10月、令和2年2月 ⑤平成29年7月、11月、平成30年6月、⑥平成30年2月、
地域	①福井県内市町、②石川県内市町、③大阪府内市町、④富山県、⑤滋賀県、⑥千葉県
対策の種類	総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ ）
対象獣種	シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）
活動の内容	「ケモノ目線の獣害対策」「集落ぐるみ対策」 座学として、ケモノの認識と行動・防御柵のポイント・電気柵の設置ポイント・集落ぐるみの獣害対策・ケモノとの境界線づくりなど基本的な知識と正しい技術のポイントをパワーポイントを使い地域住民と行政担当に講義。  現地研修として、ケモノの痕跡・獣道・獣の出口・防御柵、電気柵の効果的な設置個所などケモノ目線が理解できるように地域住民と行政担当に現地指導。  被害と対策の当事者として、現地住民の被害共有の意識付け・電気柵の正しい設置技術・周辺環境整備・捕獲技術など経験に基づいた意識と技術の助言を行う。  ICTによる電気柵電圧監視システムで見えた電圧数値の変化をグラフにて考察、電気柵の正しい認識と効果的な管理技術の助言を行う。